

インドネシアの冷凍パン生地工場 設備増強
PT. TAKAKI INDOROTI PRIMA チビノン第2工場新設

アンデルセングループの関連会社である PT. TAKAKI INDOROTI PRIMA（タカキ インドロティ プリマ社、本社：インドネシア首都特別州中央ジャカルタ市、President Director：ローレンシウス・ティルタ・ウィジャヤ）は、冷凍パン生地を製造するチビノン工場において建設を進めておりました第2工場の稼働を2024年3月6日に開始する予定です。

チビノン工場は、インドマレットグループの中核会社である PT. Indomarco Prismatama（インドマルコ プリスマタマ社）が運営するコンビニエンスストア「インドマレット」に供給する冷凍パン生地を製造しています。経済成長著しいインドネシアにおいて、インドマレットの店舗数は毎年増加、現在コンビニエンスストアの展開店舗数で世界第一位となっています（2024年1月末で約22,500店、その一部に冷凍パン生地を供給）。店舗数増加に伴い冷凍パン生地の製造量も増加、今後も拡大が予測され、この度第2工場を新設いたしました。

アンデルセングループは「パンを通じて食卓に幸せを運ぶ」という理念を掲げ、インドネシアで高品質な冷凍パン生地を供給することで、パン食文化の発展への貢献を目指しています。

◆PT. TAKAKI INDOROTI PRIMA（タカキ インドロティ プリマ社）について

- ・商号：PT. TAKAKI INDOROTI PRIMA（タカキ インドロティ プリマ社）
- ・President Director：Laurensius Tirta Widjaja ローレンシウス・ティルタ・ウィジャヤ
- ・所在地：インドネシア首都特別州 中央ジャカルタ市
- ・設立年月：2016年3月
- ・事業概要：製パン用冷凍パン生地の製造および販売

インドネシアの財閥の一つであるサリムグループ傘下、インドマレットグループに属する PT. INDOROTI PRIMA CEMERLANG（インドロティ プリマ チェメルラン社、本社：インドネシア、代表：Laurensius Tirta Widjaja ローレンシウス・ティルタ・ウィジャヤ）と、株式会社アンデルセン・パン生活文化研究所（本社：広島県広島市、代表取締役社長：沼田 二郎）との合弁会社。

◆チビノン工場について

- ・所在地：インドネシア 西ジャワ州 ボゴール地区 チビノン
- <第1工場> ・操業開始：2016年12月
- <第2工場> ・操業開始：2024年3月6日
- ・敷地面積：約5,500㎡、工場建築面積：約3,000㎡



チビノン第2工場（外観・入口）

本リリースに関するお問い合わせは、株式会社アンデルセン・パン生活文化研究所まで。

TEL：082-240-9409

広島市中区鶴見町2-19 ルーテル平和大通りビル10F